



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月6日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7989 URL <https://www.blind.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池崎 久也
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小野 寿也 TEL 03(5484)6142
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	29,975	0.6	2,940	6.8	2,964	0.1	1,968	3.3
2023年12月期第3四半期	29,790	△0.9	2,753	△9.6	2,961	△6.9	1,905	△5.0

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 2,272百万円(△6.7%) 2023年12月期第3四半期 2,434百万円(20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	106.52	—
2023年12月期第3四半期	100.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	61,955	51,806	76.4
2023年12月期	63,142	50,442	72.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 47,351百万円 2023年12月期 46,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	12.00	—	24.00	36.00
2024年12月期	—	14.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	32.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
2024年12月期の期末配当予想につきましては、27円から32円に変更しております。詳細につきましては、本日(2024年11月6日)公表致しました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	3.6	4,180	3.3	4,360	0.8	2,760	1.9	146.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	20,763,600株	2023年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	2,301,013株	2023年12月期	2,188,321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	18,481,311株	2023年12月期3Q	18,989,465株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、景気は緩やかな回復基調となった一方、不安定な国際情勢に伴う原材料価格、エネルギー価格の高止まり、物流や建設業界の2024年問題等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界は、住宅の新設着工戸数が戸建を中心に伸び悩んでおり、長期的に見ても世帯数の減少や住宅の長寿命化等により年々減少傾向にある等、厳しい環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、2023年12月期から2025年12月期までの中期経営計画「タチカワビジョン2025～継続と進化～」の実現に向けて、今後も安定した収益を確保できる事業体制の構築や、建築物内外の生活環境の改善による社会貢献を継続しながら、「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティへの取組み」に注力し、時代のニーズに応じて進化させてまいります。

当期の室内外装品関連事業においては、生活様式や働き方が大きく変化する中、多様化するニーズに応じた、より安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品の開発等に注力したほか、高付加価値製品の訴求による新規マーケットの開拓にも注力してまいりました。また、技術面においては、昨年より建設を進めておりました技術研究棟が竣工し、10月より本稼働致しました。充実した研究施設と試験設備により、製品開発のスピードと質を向上させ、更に新技術や新素材、新製法を活用した研究を推進してまいります。

駐車場装置関連事業においては、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案の推進による受注の獲得と、高騰する原材料価格の原価管理を徹底することで、収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、原価高騰の影響下においても、生産体制の改善等により収益獲得に努めてまいりました。2024年1月1日付で事業譲受したサーボモータ事業については、生産体制を整備し、3月に「バッテリー駆動用 ACサーボモータ」を発売し、自動化や省人化に向けた提案活動を開始しております。

なお、駐車場装置関連事業と減速機関連事業を展開している当社連結子会社の富士変速機株式会社は、当社との簡易株式交換により、2024年10月28日をもって当社の完全子会社となりました。今後はグループ全体の企業価値の最大化を目指し協働体制を深化させることで、シナジー効果の創出に取り組んでまいります。

サステナビリティへの取組みについては、サステナビリティ基本方針を踏まえ特定したマテリアリティに対し、CO2排出量削減等の課題解決に向け、アクションプランを実行に移し、目標達成に向けた取組みを推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は29,975百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は2,940百万円（前年同期比6.8%増）、経常利益は2,964百万円（前年同期比0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,968百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

「安心・安全・快適・環境・健康」をキーワードに、多様化するニーズを的確に捉えた製品開発に努めるとともに、新たな需要喚起による市場開拓、新製品の早期市場浸透を進めてまいりました。

カーボンニュートラルへの意識の高まりを背景に、環境に配慮した木製素材への注目が集まっていることを受け、木製ブラインド「フォレティア」シリーズにおいて、国産木材を使用したスラット（羽根）、自然由来の塗料を使用した桐製スラット、環境配慮型スラット等を追加しリニューアルしたほか、併せて自分らしいスタイルのある空間を表現できるデザインブラインド「アフタービート」シリーズもリニューアルしました。フォレティアとアフタービートにおいては、リモコンやスイッチで簡単に操作できる電動製品「ホームタコス」を新たにラインナップし、充電式のバッテリーを搭載した「バッテリー仕様」も拡充致しました。

また、調光ができるファブリック製品の需要の高まりに対応するため、タテ型ブラインドのスタイリッシュさと、カーテンの優しい雰囲気と併せ持ち、採光と眺望を自由にコントロールできる調光タテ型ブラインド「エアレ」を発売し、当社の強みである製品バリエーションを更に拡大させ、プロダクトミックス提案の強化を図っております。

更に、光熱費の高騰や省エネ意識の高まりを受け、断熱性に優れた「ハニカムスクリーン プレア」の生地ラインナップをリニューアルし、遮光や遮熱性能に優れた新たな生地を拡充致しました。

その他、「タチカワブラインド新製品発表会」を開催し、“広がる、彩り豊かな暮らし方”をテーマに、今年発売の新製品をはじめ、新たな価値観や多様化するニーズに対応する製品を訴求してまいりました。

以上の結果、売上高は25,477百万円（前年同期比2.0%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等の収益改善に努めたことにより、2,663百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

主力製品の「パズルタワー」につきまして新規開拓に取り組んだほか、既設納入物件に対する付加価値提案による改修や保守の受注獲得に努めたことにより、売上高は2,167百万円（前年同期比5.6%増）となりました。営業利益につきましては、原材料価格が高止まりしている中、新設物件に対する原価の先行管理の徹底に努めたことにより、204百万円（前年同期比352.4%増）となりました。

[減速機関連事業]

工作機械需要に弱さがみられる中、新規サーボモータ事業等の営業展開に取り組みましたが、各種減速機の受注が低調に推移したことにより、売上高は2,330百万円（前年同期比15.4%減）となりました。営業利益につきましては、経費節減等に取り組みましたが、原材料価格の高止まりや売上高の減少により、72百万円（前年同期比66.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は61,955百万円で、前連結会計年度末と比較し1,186百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は37,827百万円で、前連結会計年度末と比較し1,282百万円の減少となりました。これは主に、棚卸資産が増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権が減少したことによるものであります。

固定資産は24,127百万円で、前連結会計年度末と比較し96百万円の増加となりました。これは主に、無形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

負債は10,148百万円で、前連結会計年度末と比較し2,550百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、電子記録債務が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は51,806百万円で、前連結会計年度末と比較し1,364百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は76.4%と、前連結会計年度末と比較し、3.5ポイントの増加となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、540百万円減少し、14,861百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、1,185百万円の増加（前年同期は3,092百万円の増加）となりました。

これは税金等調整前四半期純利益3,118百万円に対し、減価償却費880百万円、売上債権の減少額2,115百万円等による増加があった一方で、棚卸資産の増加額878百万円、仕入債務の減少額1,970百万円、法人税等の支払額1,491百万円等による減少があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、958百万円の減少（前年同期は2,323百万円の減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出698百万円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、774百万円の減少（前年同期は1,536百万円の減少）となりました。

これは主に、配当金の支払742百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2024年2月6日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,462,818	15,421,826
受取手形、売掛金及び契約資産	9,136,733	7,622,498
電子記録債権	6,976,485	6,357,963
商品及び製品	791,935	828,062
仕掛品	1,621,465	1,862,830
未成工事支出金	18,359	52,627
原材料及び貯蔵品	4,645,549	5,301,263
その他	536,868	456,981
貸倒引当金	△79,641	△76,309
流動資産合計	39,110,573	37,827,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,524,063	16,552,028
減価償却累計額	△10,362,137	△10,610,350
建物及び構築物（純額）	6,161,926	5,941,678
土地	8,606,178	8,603,334
その他	17,996,579	18,473,144
減価償却累計額	△14,984,262	△15,256,442
その他（純額）	3,012,317	3,216,702
有形固定資産合計	17,780,421	17,761,715
無形固定資産		
投資その他の資産	305,266	377,762
投資有価証券	3,340,814	3,368,866
退職給付に係る資産	558,702	592,636
その他	2,150,169	2,091,381
貸倒引当金	△103,707	△64,692
投資その他の資産合計	5,945,979	5,988,191
固定資産合計	24,031,667	24,127,669
資産合計	63,142,241	61,955,413

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,470,740	1,787,799
電子記録債務	3,384,781	2,152,498
未払金	1,319,294	997,272
未払法人税等	941,379	547,102
賞与引当金	227,128	779,173
役員賞与引当金	63,282	49,925
製品保証引当金	19,425	13,119
工事損失引当金	22,597	-
その他	1,514,513	975,269
流動負債合計	9,963,143	7,302,160
固定負債		
役員退職慰労引当金	427,897	455,854
退職給付に係る負債	2,217,264	2,286,470
その他	91,165	103,993
固定負債合計	2,736,326	2,846,318
負債合計	12,699,469	10,148,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,580,829	4,580,829
利益剰余金	38,019,861	39,284,157
自己株式	△1,805,212	△1,969,630
株主資本合計	45,270,478	46,370,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677,627	886,925
繰延ヘッジ損益	△1,576	-
為替換算調整勘定	84,737	93,033
退職給付に係る調整累計額	△11,523	732
その他の包括利益累計額合計	749,265	980,691
非支配株主持分	4,423,027	4,455,886
純資産合計	50,442,771	51,806,934
負債純資産合計	63,142,241	61,955,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	29,790,673	29,975,918
売上原価	17,585,035	17,600,906
売上総利益	12,205,638	12,375,012
販売費及び一般管理費	9,452,188	9,434,562
営業利益	2,753,449	2,940,449
営業外収益		
受取利息	2,623	3,304
受取配当金	47,936	57,939
不動産賃貸料	27,738	28,170
受取保険金	75,382	665
為替差益	13,075	3,901
その他	51,594	58,430
営業外収益合計	218,350	152,412
営業外費用		
支払利息	4	282
不動産賃貸原価	5,551	6,436
自己株式取得費用	2,149	818
支払手数料	-	118,058
その他	2,476	2,533
営業外費用合計	10,182	128,129
経常利益	2,961,618	2,964,732
特別利益		
固定資産売却益	4,105	3,018
投資有価証券売却益	10,861	150,704
受取補償金	33,500	-
特別利益合計	48,466	153,723
特別損失		
固定資産除却損	6,754	62
特別損失合計	6,754	62
税金等調整前四半期純利益	3,003,331	3,118,393
法人税、住民税及び事業税	1,108,722	1,145,235
法人税等調整額	△90,143	△58,183
法人税等合計	1,018,578	1,087,052
四半期純利益	1,984,752	2,031,340
非支配株主に帰属する四半期純利益	78,942	62,759
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,905,810	1,968,581

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	1,984,752	2,031,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	406,693	218,715
繰延ヘッジ損益	9,663	1,576
為替換算調整勘定	20,898	8,295
退職給付に係る調整額	12,248	12,281
その他の包括利益合計	449,503	240,869
四半期包括利益	2,434,256	2,272,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,331,099	2,200,007
非支配株主に係る四半期包括利益	103,156	72,202

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,003,331	3,118,393
減価償却費	897,635	880,349
賞与引当金の増減額 (△は減少)	483,731	552,045
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,377	△13,357
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△17,218	△36,244
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	76,007	83,145
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,245	27,957
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	4,169	△6,306
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	24,729	△22,597
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,102	△44,698
固定資産除売却損益 (△は益)	2,648	△2,956
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10,861	△150,704
受取利息及び受取配当金	△50,560	△61,244
支払利息	4	282
為替差損益 (△は益)	△12,410	△3,178
売上債権の増減額 (△は増加)	1,837,924	2,115,585
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△651,954	△878,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,212,633	△1,970,490
未払金の増減額 (△は減少)	△394,630	△436,286
その他	92,937	△535,894
小計	4,068,616	2,615,616
利息及び配当金の受取額	50,092	60,753
利息の支払額	△5	△5
法人税等の支払額	△1,026,081	△1,491,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,092,621	1,185,039
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,244,797	△698,784
有形固定資産の売却による収入	9,378	11,178
無形固定資産の取得による支出	△33,402	△41,621
投資有価証券の取得による支出	△523	△883
投資有価証券の売却による収入	15,884	438,449
事業譲渡による支出	-	△196,906
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△159,644	30,330
定期預金の純増減額 (△は増加)	89,999	△500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,323,104	△958,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△48,262	△32,724
配当金の支払額	△632,014	△704,830
非支配株主への配当金の支払額	△40,159	△37,391
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△59,427	164,760
自己株式の取得による支出	△456,585	△163,724
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△299,804	-
その他	△226	△693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,536,480	△774,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,060	6,808
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△744,902	△540,991
現金及び現金同等物の期首残高	15,978,071	15,402,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,233,168	14,861,261

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,983,578	2,052,246	2,754,848	29,790,673	—	29,790,673
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	76,092	76,092	△76,092	—
計	24,983,578	2,052,246	2,830,941	29,866,766	△76,092	29,790,673
セグメント利益	2,494,918	45,198	213,332	2,753,449	—	2,753,449

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	25,477,803	2,167,187	2,330,927	29,975,918	—	29,975,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	58,384	58,384	△58,384	—
計	25,477,803	2,167,187	2,389,312	30,034,303	△58,384	29,975,918
セグメント利益	2,663,527	204,478	72,444	2,940,449	—	2,940,449

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。